

(株)別処電線製造所

2021 年度 環境経営レポート

(対象期間： 2021 年6月1日 ~ 2022 年5月31日)



環境省
エコアクション21
認証番号0004504



地球を守り 未来を創る

発行日：2022年6月10日

環境経営方針

(株)別処電線製造所は、特殊銅撚線（無酸素銅、スズメッキ銅、ニッケルメッキ銅）、丸編組線、平編組銅線の製造販売を通して、地球環境、地域社会との調和と共存を念頭に置き、弊社が行うすべての事業活動において、全社一丸となって継続的改善を行い、地球にやさしい会社創りを目指します

1. 次の事項について環境経営目標・経営計画を定め、継続的な改善に努めます

① 二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- ・ 電力（工場、事務所）
- ・ 自動車燃料（営業車、トラック）

② 廃棄物排出量の削減

③ 水使用量（水資源の保全）

- ・ 一般水道水

④ 事務用品等のグリーン購入の推進

⑤ 製品不良の削減

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

4. 環境経営方針を全従業員に周知します。

※化学物質使用量の削減については、PRTR物質の使用が無い為設定しておりません。

制定日： 2008年11月1日

改定日： 2020年2月25日

専務取締役
環境事務局長

別處 了太郎
別處 達也

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

(株)別処電線製造所
代表取締役社長 別處 了一

(2) 所在地

本 社 大阪府茨木市蔵垣内1-2-10 ※
※2020年8月に集約移管

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	専務取締役	別處 了太郎	TEL 072-624-6001
担当者	環境事務局長	別處 達也	同上

(4) 事業内容

特殊銅撚線、編組線の製造および販売
主要製品：無酸素軟銅撚線、無酸素軟銅丸編組線、スズメッキ軟銅撚線、平編組銅線

(5) 事業の規模

製品出荷額	15.5 億円
主要製品生産量	890 トン

	本社	合計
従業員(人)	28	28
延べ床面積(m ²)	2199	2199

(6) 事業年度 6月1日～5月31日

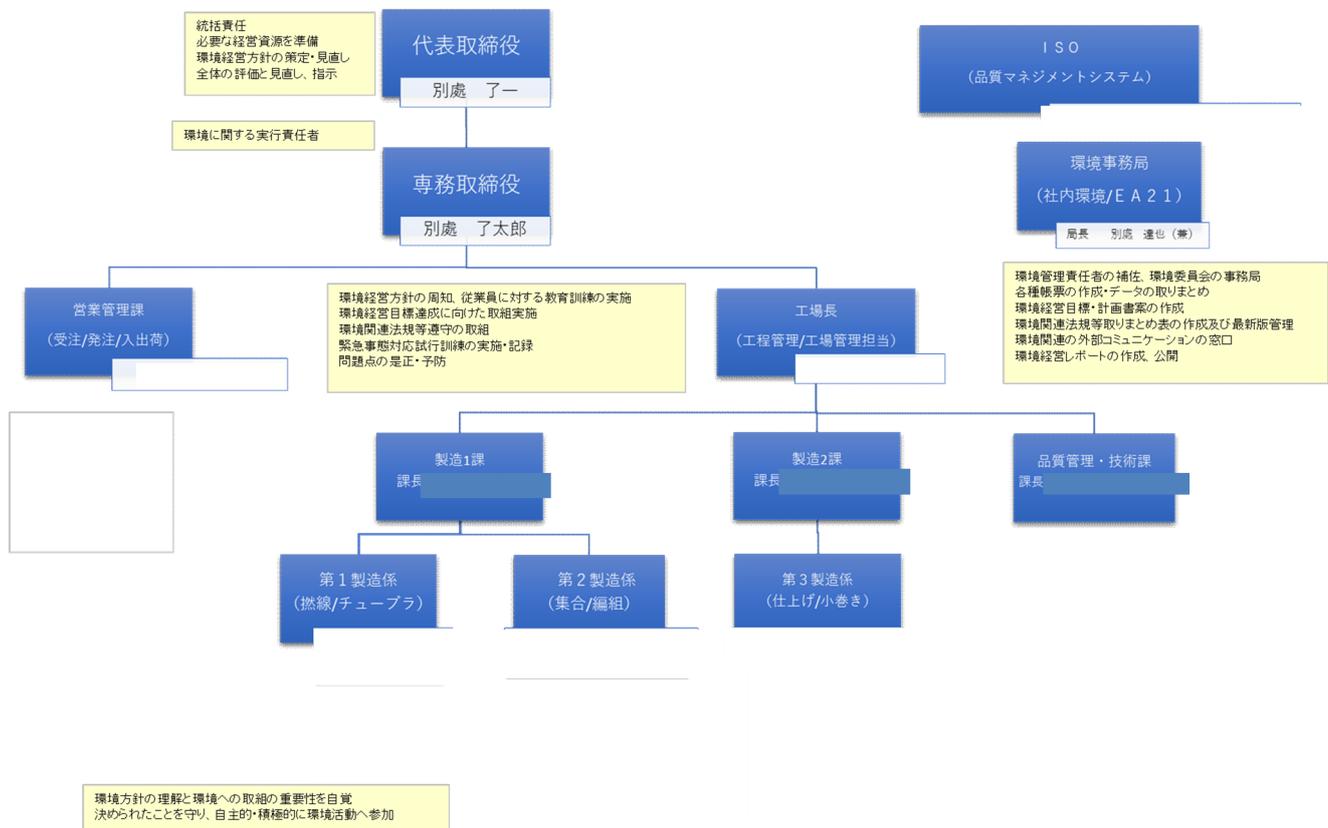
□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： (株)別処電線製造所

対象事業所： 本社

活動： 特殊銅撚線、編組線の製造および販売

環境経営組織および役割・責任・権限



□主な環境負荷の実績 (2021年度)

項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	149,485	122,161	147,351
廃棄物排出量	kg	1,586	1,939	2,229
一般廃棄物排出量	kg	506	676	673
産業廃棄物排出量	kg	1,080	1,263	1,556
総排水量	m ³	287	340	377

※電力の二酸化炭素排出量換算値

0.349 kg-CO₂/kWh

関西電力2020年度

□環境経営目標及びその実績（2021年度）

項目	年度	基準値 (基準年度)	2021年		2022年	2023年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 (本社工場)	kg-CO2 基準年比	110,899 2020年	109,790 99%	133,688 121%	108,681 98%	107,572 97%
原単位の把握 (粗利益÷電気使用量)	千円/kWh 基準年比	1.00 2020年	1.06 99%	1.06 100%	0.95 95%	0.95 90%
自動車燃料による二酸化炭素	kg-CO2 基準年比	13,487 2020年	12,947 96%	13,663 101%	12,812 95%	12,677 94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	124,385	122,737	147,351	121,493	120,249
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	676 2020年	655 97%	673 100%	655 97%	642 95%
廃プラの削減	kg 基準年比	1,263 2020年	1,225 97%	1,556 123%	1,225 97%	1,200 95%
水道水の削減	m 基準年比	340 2020年	330 97%	377 111%	330 97%	323 95%
製品不良の削減	件 基準年度比	12 2020年	12 97%	9 75%	12 97%	11 95%

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △まあまあできた ×できなかった

取り組み計画	SDGsとの 関連	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減			
数値目標		×	目標未達 電気使用量が急増している。ただしその分売上が伸びているので稼働率が増えた事によるものであると考える。昨年対比で原単位が悪化している。リードタイム短縮の為に材料のまとめ発注や、材料の価格高騰などが原因で挙げられる。次年度は仕損の低減を図る事によって、削減に努めていきたい。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）※工場内は冷房25℃暖房22℃	 	○	
・不要照明の消灯		○	
・ノー残業デーの実施		○	
・作業改善・業務改善の推進		△	
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標		×	目標未達。後半には客先訪問や納品が増えたのが原因といえる。次年度はまとめ出荷など、配送の効率化による削減に努めていきたい。
・アイドリングストップ	 	○	
・効率的なルートで配送		○	
・エリア別営業活動の見直し ・更新時に低燃費車を選択		○	
一般廃棄物の削減			
数値目標		×	目標未達ではあるが、月別では達成ペース。引き続き削減に努める。
・分別の徹底	 	△	
・紙コップ使用の削減		○	
・副資材の管理による無駄の防止		○	
・5S活動の推進（部門別活動計画書で運用） ・環境配慮したコピー用紙の購入		△	
廃プラの削減			
数値目標		×	目標未達。前年の生産量が少なかったのも一因であるが、引き続き削減に努めていきたい。
・作業ミスによる廃棄量の削減	 	○	
・安全で丁寧な作業の励行		○	
水道水の削減			
数値目標		×	目標未達。但し新工場移管前を除けば使用量はほぼ横ばい。引き続き節水に努める。
・自動散水装置の取り付け		○	
・自動水栓取り付け		○	
製品不良の削減			
①作業前の点検、確認の徹底		○	目標達成。後半は受注量が増えていたが、不良が少なかったのは、日々の努力の賜物であると言える。引き続き削減に努めていきたい。
②定期的にスキルチェックを行う	 	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属屑、廃プラ、木くず等）	○
NOx・PM法	自動車	○
フロン排出抑制法	業務用空調機	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等はこれまでありませんでした。（関係当局よりの違反等に指摘はありませんでした）

□代表者による全体評価と見直しの結果

コロナ禍により大きく減産していた前期から、今期は大きく復調したこともあり、電気使用量など各部門で目標達成とならなかったが、悪い傾向ではないので、引き続き目標達成に向けて活動を行って行きたい。

環境経営方針	変更なし
環境経営目標・計画	変更なし
実施体制他	変更なし

見直し年度：2022年6月8日 代表取締役 別處了一

□環境活動の紹介

リサイクル材を使用した販売促進（展示会ブース）



- ・今期の改善テーマ～仕損の低減
- スペースの最適化による事故・ミスの低減